



技術評価書

申込者：株式会社伊藤製鐵所 代表取締役社長 伊藤 壽健
東京都千代田区岩本町三丁目2番4号 岩本町ビル7階

技術名称： オニプレート定着工法 FRIP 定着工法 RC 構造設計指針(2019年)

技術概要： オニプレート定着工法はネジ節鉄筋型定着金物オニプレート、FRIP 定着工法は摩擦圧接型定着金物 FRIP 定着板を用いた機械式定着工法であり、両工法設計指針は、GBRC 性能証明 第02-07号 改7、第02-19号 改5(2010年12月10日)および SABTEC 技術評価 12-03, 12-04(2012年7月26日)を取得している。

SABTEC 技術評価 12-03R1(2013年11月27日)は、高強度 RC 柱梁接合部編および柱主筋外定着方式編を適用範囲に追加した設計指針(2013年)の妥当性について行われ、SABTEC 技術評価 12-03R2(2014年7月21日)は、RCS 混合構造設計指針が別途作成されたことより、RC 構造を適用対象とした「RC 構造設計指針(2017年)」について行われている。

また、SABTEC 技術評価 12-03R3(2019年9月25日)は、2017年以降における使用実績の増加を踏まえて改定した設計規定を盛り込んだ「RC 構造設計指針(2019年)」について行われている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2019年9月25日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
オニプレート定着工法 FRIP 定着工法 RC 構造設計指針(2019年)および実験説明資料
この資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。この資料のほかに、オニプレート定着工法標準施工要領書、FRIP 定着板摩擦圧接要領書および専門部会資料が提出されている。

評価内容： 申込者提案のオニプレートおよび FRIP 定着板は、それぞれ鉄筋母材の規格引張強さに相当する荷重を受けても損傷せず、本工法設計指針によって設計されるオニプレートおよび FRIP 定着板を用いた異形鉄筋定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。